

# 佐賀市老人クラブ連合会

## 女性部だより第8号

令和4年11月発行

発行責任者  
高津万亀代

### 令和4年度女性リーダー研修会

令和4年10月24日(月)ロイヤルチエスター佐賀で各校区老連より3名の参加により開催。

佐賀市老連古賀一彦会長の挨拶、高津万亀代女性部長の挨拶により開始して、くらしの自然薬」と題して野中鳥屋園社長の野中源一郎氏の講話を受け、佐賀市老連事務局長より現状の佐賀市老連について説明を受けた。その後、6つの班に分かれて女性部の活動報告や会員増強の取組等自分たちが行っていることを報告し、各班より司会・記録発表者を決めて午後より発表を行った。

発表の内容は次のとおり

1班司会進行(兵庫)田中富枝、記録(大和)福岡 緑 発表(兵庫)田中 富枝

・春と秋の花植え、どのクラブも健康体操があつていようです。また12月

月は餅つき大会をされている

どのクラブもコロナの影響で自粛されているところが多いようですが、料理教室とイベント等の催しをされています。近くの公園やお宮の掃除

をされているようです。金立はコスモスロードの種まき、除草をしています。

集会の後、全員でラジオ体操をされているチームもあります。グラウンドゴルフの練習をしているクラブが多い。

どのクラブも健康づくりや小学生との交流をしている。

どのクラブも加入者がなくて困っているが、兵庫のクラブでは女性役員で一軒一軒廻り、Sの仲間に入

つてもらったり、趣味の作品展の出品を依頼して協力してもらった。先輩役

員の声掛けもあった。

2班 司会進行(嘉瀬)、時尾 久美子  
記録(嘉瀬)池田 文子、発表(金立)武

富 征子

・会員増強拡大運動の取り組み

各校区老連より3名の78名のうち欠席者の77名の参加となった

\*ふれあい行事スポーツ行事地区行事などに未加入の方に参加協力をお願いして徐々に入会までサポートする。

\*楽しいバス旅行に行けると言って参加を促す。

・女性の活動

\*行事の下支えをしている。

\*高齢者趣味の作品展の出品作品を皆で作ったり、老人クラブ大会の出

物を女性がリードして練習し、男性会員も楽しく行っている。

\*90歳以上の方に年賀状を出す(南川副・西川副・中川副)

\*花壇の草取り・年二回の植え替えや講師を依頼して研修会を開催。

\*活動資金作りに物品販売をしている。

3班 司会進行(諸富)大隈 那智子  
記録(高木瀬)枝吉 千年世 発表(高木

瀬)枝吉 千年世  
・会員募集について

\*三瀬はSの歳で入会するようなやり方(皆さんでそのころになると何人

かで呼びかける)

\*会員は後期高齢者が多いのもっと早くから入会を勧めたい。

・どの校区も小学生の登下校の見守り活動をおこなっている。

・女性部の活動

\*三瀬：ファミシオンについて先生を

勉強(筆筒の肥やしはやめてよいのから着用)

楽しいことを取り入れるように心がけている。

\*鍋島：毎月の花壇の手入れ。物品販売や雑巾を作り学校へ寄付。いご手玉大会を行う。

\*久保田：新興住宅が多く若い人が

多いのでなかなか入会しない。小学校下校時に単位クラブでまとまり

2人体制で見守り。

\*蓮池：例会を楽しくして参加者を増やすよう蓮池節のけいこを女性部

7人で勉強中。

\*勧興：町の駅で物品を売ったり、九州短大との交流。一人暮らしの人への声掛け。

今後、行事参加の少ない方に楽しい行事を絵手紙のようにして知らせる。今日の発表を参考にしたい。

4班 司会進行(西川副)酒井 トシ子  
記録 発表(西川副)酒井 トシ子

・社会奉仕としては地元天神社の年

4回の清掃

・一人暮らし、または昼間お一人の方にヘルパーとして言葉かけなど様子



を見に行っている。

・老人会旅行(さなほり)、史跡探訪などの際、一人1000円の補助をし、参加できない方には500円のお土産を買って帰る。

・コロナになって会員との集まりも少なく淋しい思いをしている人もあり、班長さんたちが公民館に集まり一人一人にお手紙を書きました。サンタクロースの折り紙作って貼って「コロナに負けないで頑張ってください」と添えて配りました。大変喜ばれました。

・各校区、健康教室やマスコット作り、石窯での作品作りに挑戦などいろいろ工夫を凝らしてやっている。

## 5班 司会進行(新栄)川副 明子

### 記録 発表

・活動状況：男女平等の基本理念のもと、活発で意欲的な状況の校区・単位クラブの現状が報告された。

例：健康マージャン愛好会・童謡の会・ポッチャーいご手玉・男性料理教室(月二で健康教室

「血管内皮」のプリントを配り塩分控えめの料理作り。「本庄の宿老、厨房に立つ」

ソーマン・うどんの物品販売、小学生との交流(田植え稲刈り・餅つき)

生き生き元氣文集づくり、高齢者趣味の作品展出品

・単位クラブの実態(課題)：\*会員増強の知恵をかりたい。

\*単位クラブ滅亡の危機

\*活動が多すぎて疲れを感じる。

## 6班 司会進行(東与賀)村山 栄美子

### 記録 発表(諸言)江原 和子

・各地区の会員の募集、勧誘の方法は掛けや個別に誘ったりと色々であるが、主に一人暮らしの方へ行われる傾向にあり、これは、始めサロン活動から老人クラブへと移行する会員確保に繋がっていくように取り組まれているためと思われる。サロンを持っている老人クラブでは、両方のそれぞれの良いところをうまく取り入れ活動運用しておられるのが見習うべきと思った。

この様なコロナ禍の中でも月に2〜3回の会合を設けて行っている熱心な地区もあり、その中でも高齢の方が参加してよかったと喜んでもらえる様踊り体操・観月会。また、地区のボランティアの演劇などで楽しまれて、男性の協力で十年以上前から石窯を作ったが今後さらに活用を拡げて益々会

員増強に努めたいと考えているところもあり、各地区独自に日帰り

旅行や季節による花見花植え、落雁づくり・味噌づくり・餅つき・カレー会など広く地区の方にも声掛けをし親睦を計り、入会の下地作りをされている。

その他にも高齢者と幼小児子供との触れ合いの場を年間6回ほど作り、凧揚げ・コマ回し・お手玉・おはじき等の昔遊びを行って交流を老若男女されている。

一方、運動会も文化交流館の中でのため密接・密閉・密集となり、今年度は何とかと話を進めたが、中止となり残念だったが、二月のおばあちゃんの発表会に向け踊りや作品作りを行っている。

私的には、色々な世代を繋ぎ、次の老人クラブの会員になってもらう為には、世代の格差をなくするための努力の必要も感じているこの頃です。

全体の講評

どこの老人クラブ連合会や単位クラブでも知恵を凝らしての活動がなされており、関心することばかりであります。やはり、楽しく・意義のある

る活動をしていけば皆も付いて来るものと思われれます。

会員皆様方の御意見を十分に吸い上げ楽しく・為になる活動をしていく事が大切だと思えます。

共に頑張ってくださいませ。

